

石川県能登地方の地震活動の検出・震源再決定

使用した連続波形データ : 2023年5月5日~10日,
2022年6月19日~21日

観測点数 : 17点

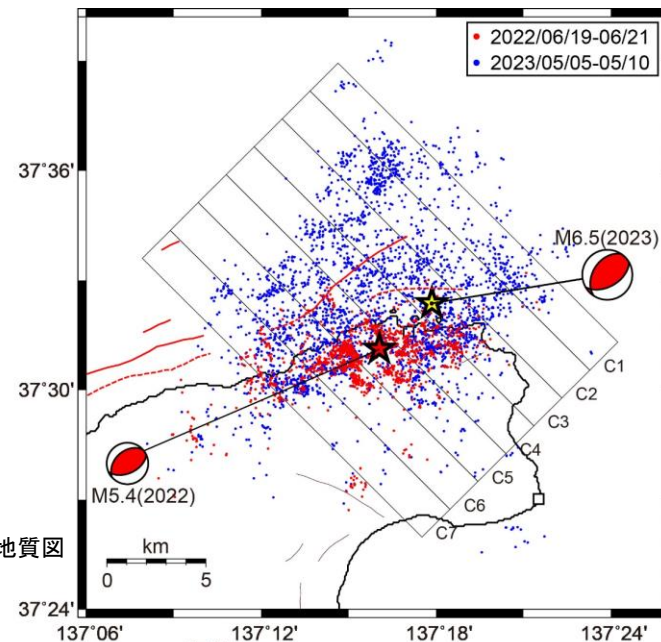
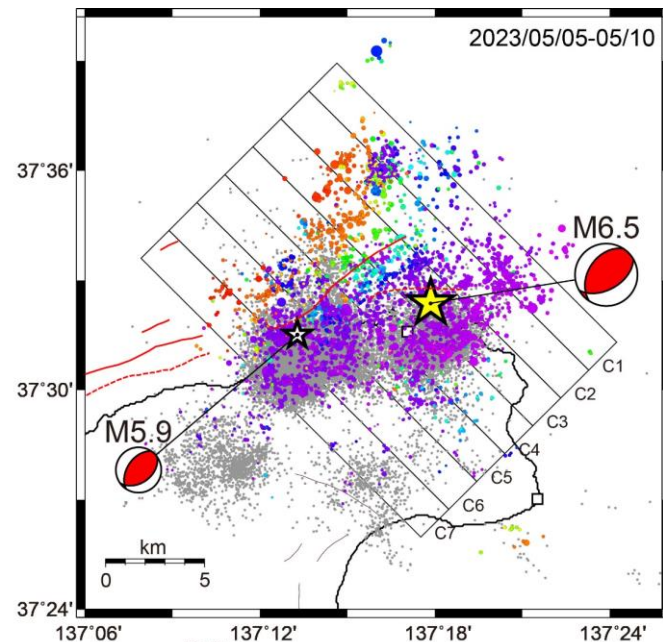
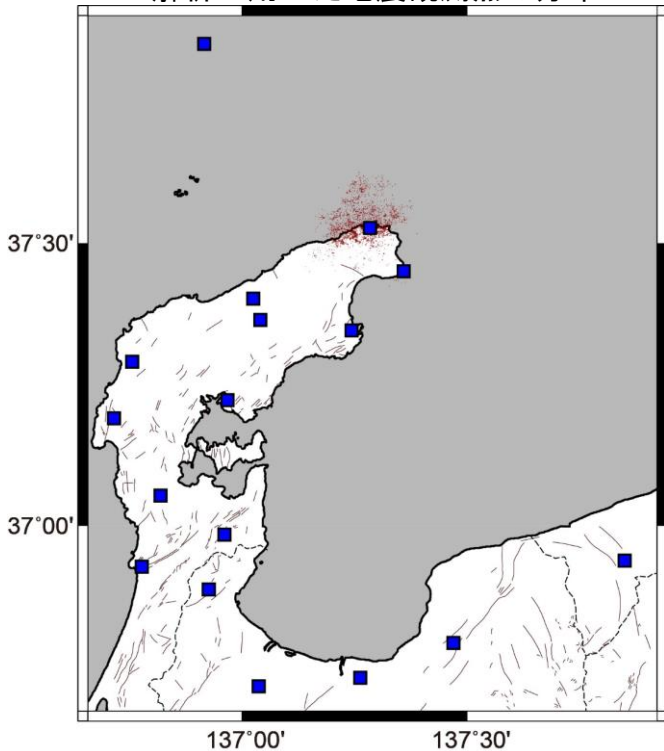
読み取り : Phasenet (Zhu et al. 2019)

イベント検出 : REAL (Zhang et al. 2019)

震源再決定 : DD法 (Zhang & Thurber 2003)

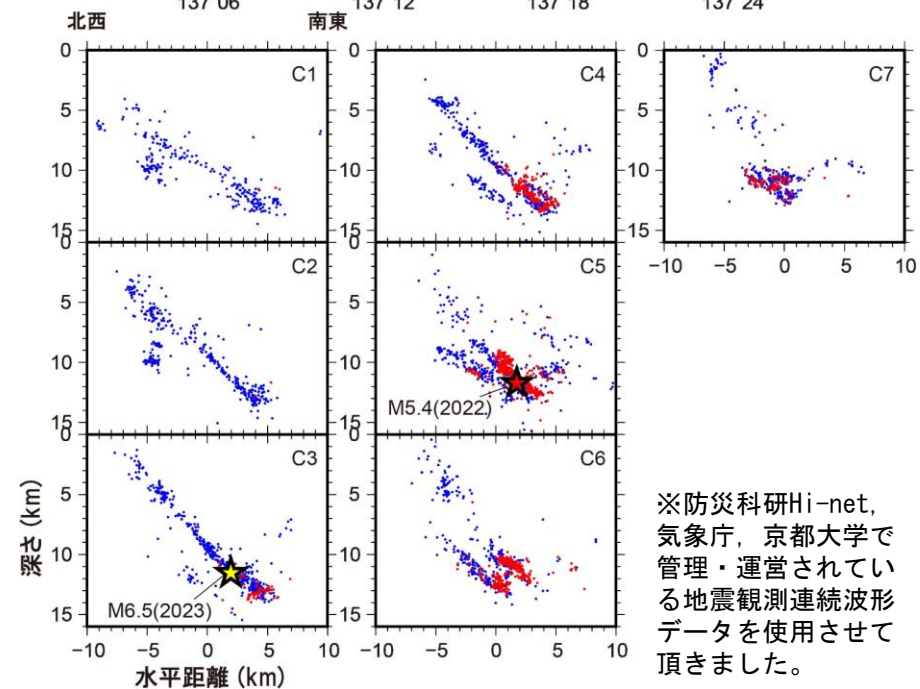
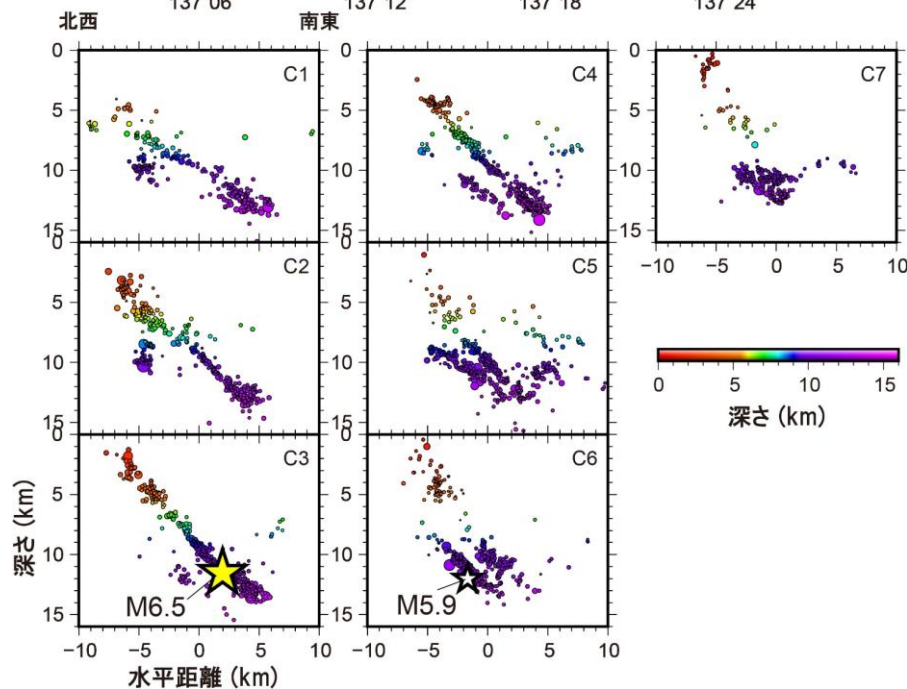
震源数 : 2022年 (1292個), 2023年 (2798個)

解析に用いた地震観測点の分布



発震機構解:
防災科研AQUA

海域活断層:
産総研シームレス地質図



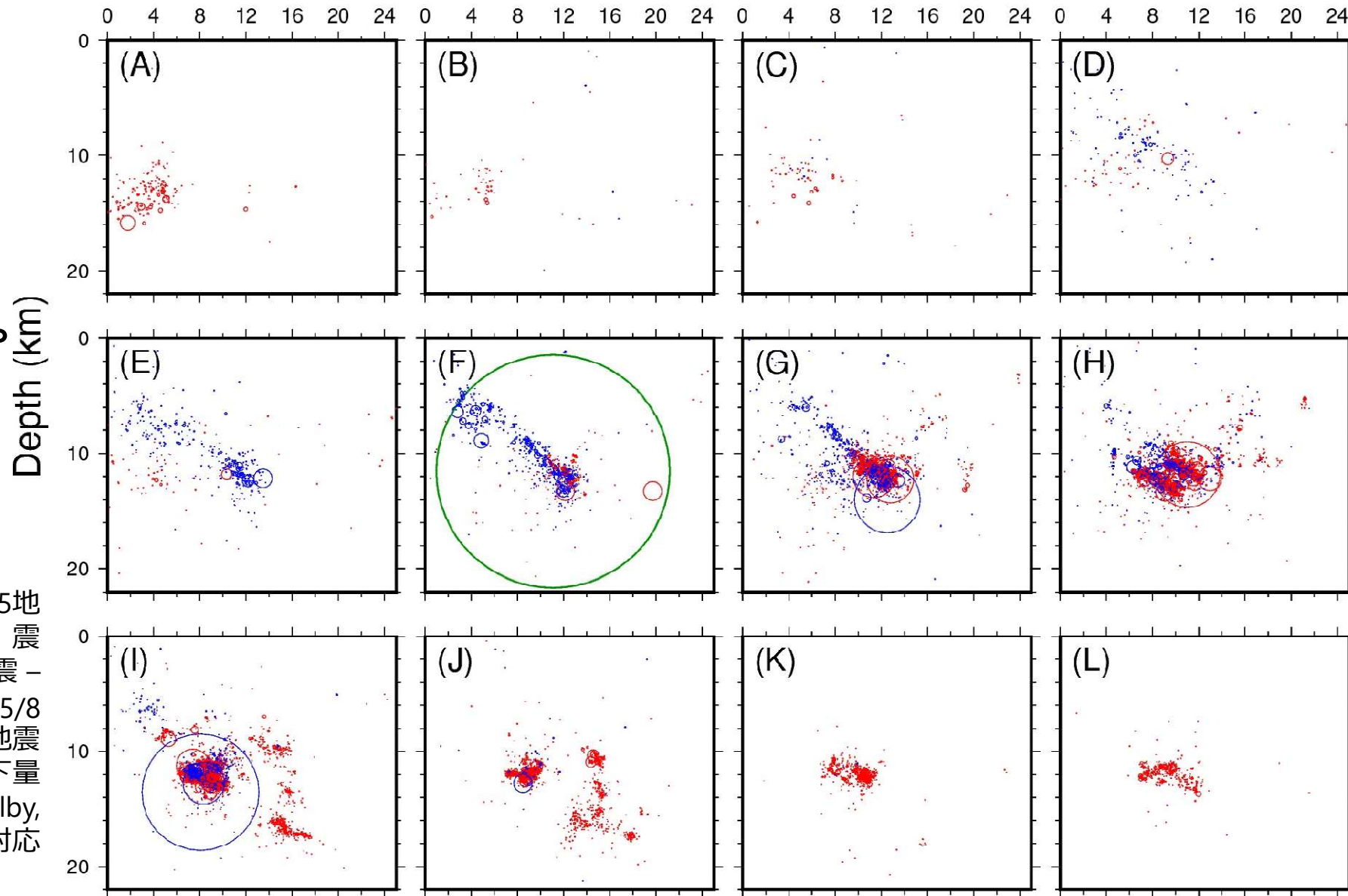
※防災科研Hi-net,
気象庁, 京都大学で
管理・運営されてい
る地震観測連続波形
データを使用させて
頂きました。

断面図

Distance (km)

東北大・金沢大資料

M6.5地震震源は、これまで活動が活発だった南東傾斜断層系の浅部側に位置。更に浅部延長で活発な余震活動



緑： 2023年 5月 5日M6.5地震
青： 2023年M6.5地震 - 2023/5/8
赤： 2003- 2023年M6.5地震
丸のサイズは応力降下量 3MPaの円形断層 (Eshelby, 1957)サイズに対応